



TITLE:

文書・新書の貸出をはじめました

AUTHOR(S):

---

CITATION:

文書・新書の貸出をはじめました. 静脩 1993, 30(1): 3-3

ISSUE DATE:

1993-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37193>

RIGHT:

近は影印による出版が盛んで、古記録の形状をそのまま知りうるようになっているが、陽明文庫所蔵の日記・文書は『陽明叢書』として影印による出版が進められている。「兵範記」の古写本29巻は『人車記』（全4冊）の書名で、私が解題を付してこの叢書で刊行した（「人車記」の「人」は信範の「信」の扁、「車」は「範」の一部で、「人車記」は「兵範記」の別称）。

次いで『京都大学史料叢書』の一部として、今度は『兵範記』の書名で、京大所蔵分の出版をやはり影印で進めている。全4冊の予定で、3冊はすでに刊行を終えたが、その中には「兵範記」古写本25巻の中、20巻が含まれている。いよいよ最後の1冊が

残ったが、それには「兵範記」古写本残り5巻のほか、「範国記」「知信記」、それに文学部博物館・附属図書館の「兵範記」断簡までも収め、さらに解題を加えることになる。「範国記」「知信記」、それに「兵範記」断簡の多くは、未刊の、学界未紹介の史料である。刊行が遅れて御迷惑をかけて来たが、いそいで完成させたいと思う。

なおこれらの日記の多くは、文書の裏を用いて書かれており、日記の裏の文書にも貴重なものが少なくない。『陽明叢書』『京都大学史料叢書』（いずれも思文閣出版刊）では、これらの裏文書の刊行も計画されている由である。

## お知らせ

### 文庫・新書の貸出をはじめました

現在、附属図書館ではおよそ2,000冊の文庫や新書を2階開架室に別置しています。その種類は次のとおりです。

岩波文庫	483冊
岩波新書	460冊
講談社学術文庫	442冊
文庫クセジュ（白水社）	85冊
講談社ブルーバックス	478冊
その他（一部別置のもの）	
白峰文庫	角川文庫
講談社文庫	学振新書
集英社文庫	テレビ文庫
文春文庫	徳間文庫
中公新書	

本図書館では、この別置しているもののほかに、一般図書と同様に貸出できる文庫や新書もありますが、別置している多くのものは「館内」扱いにして、貸出はしていませんでした。以前より利用者から貸出の要望がありましたが、その際には当日のみの一時持ち出しなら出来ると答えて来ました。

しかし、たった一日の持ち出しや閲覧のみでは十分な利用はできず、掛員の答えを聞いて、手に持っていた文庫本の利用を断念してしまう方も見受けられました。このような状況を考慮し、より有効に図書館資料を利用していただくために、貸出サービスを6月21日より開始することになりました。

貸出の方法は、書庫内図書等の貸出と同様、マニユ

アル貸出方式になります。少々面倒ですが、新たなサービスで試行錯誤の段階でもあり、ご協力をお願いします。詳しい事や細かい点などは、カウンターまでお問い合わせ下さい。貸出期間は2週間以内、一度に貸出できる冊数は1冊です。

その対象となる文庫・新書本は、2階の階段をあがってすぐのところ（休憩コーナーロビーの前）に配架してあります。背表紙に青いシールを貼ってありますのでおわかりいただけると思います。どうぞ、ご利用下さい。

（資料運用掛）

### 「図書館の達人」（ビデオ）を購入しました

昨年度、図書館の利用案内に役立てるために標記のビデオを購入しました。ところで、この「図書館の達人」とは一体どんな人なののでしょうか。経験を積んだプロの図書館員のことでしょうか。いいえ、ここで言う図書館の達人とは図書館活用の達人、すなわち利用者のことです。

このビデオでは、図書館の機能や活用法をドラマ形式で紹介していきます。このビデオを見ることにより、利用者は図書館の利用法や効率的な文献探索の方法を学ぶことができ、図書館活用の達人になれる、というのが製作者の意図のようです。

テープは3巻からなり、内容は（1）図書館の機能、（2）文献探索の基礎、（3）雑誌記事の調べ方、に分かれています。各巻平均18分、全巻を見ても1時間程度ですので一見をおすすめします。

利用を希望される方は、3階の雑誌・特殊資料掛カウンターでお申し込み下さい。

（雑誌・特殊資料掛）